

みんなの県政

45 / 5
No.17
富山



きめ細かい県政



ことしの県予算は、今日の高度経済成長の
 かげに、ややもすると置き去りになろうとす
 る谷間の人々にも光をあてるよう、心身障害
 者やおとしよりなど、恵まれない人々のため
 の政策が、優先的に進められます。
 とくに、厚生部に老人福祉係を新設して、
 積極的に取り組むことになっています。
 (写真は、県立流杉老人ホームのねたきり
 老人を慰問する中田知事)



みんなの県政45年5月号 (No.17)

表紙・牛が首用水由来の碑(歴史シリーズ⑩)

<グラビア> きめ細かい県政…………… 3

子算特集 ※住みよい県土を
 めざして…………… 4

「現代の名工」を訪ねて ②…………… 11

左官ひとすじに 佐久間松平さん

あなたのコーナー ご質問に答えて…………… 12

造林シリーズ 害虫の防除

畜産団地の育成へ…………… 13

献血の実態を見る…………… 14

最近の県政から…………… 16

△知事、交通事情を視察

△北陸自動車道の用地買収に調印

△電子計算機が運転開始

△県議事堂の起工式

富山県の自然⑩ 藤が池…………… 18

越中史夜話 第12回

身がわり…………… 19

裏表紙

みんなで野鳥の保護を……………

県政テレビ番組

表紙説明

開けゆく田畑



牛が首用水由来の碑 (富山市百塚)

江戸時代には、盛んに新田の開発が行なわれた。婦負郡北部と射水郡東部一帯は、昔から沼や河原が多かった。「八町、針原、布目の人たちはセリヤオバコの根を絶やす」とうたわれ、この地方の農民は、食料不足に苦しんでいた。

このため、神通川の水を利用して、用水を引こうとする農民の願いが強かった。

射水郡下村の長左衛門、婦負郡八町村の善左衛門、同郡小竹村の久右衛門らは、近郷23か村の村役人とともに、加賀藩の許可を受けて、寛永元年(1624)8月16日に牛が首用水の工事を始めた。

工事にあたって、賃金、資材とも全部、藩が負担し、婦負郡と射水郡を灌漑する計画が進められた。

藩主前田利常は、この用水に大きな期待を持ち、たか狩りといっってはたびたび工事を見にきた。このようにして、寛永10年(1633)用水はついに完成した。この用水によって開かれた新田の草高(標準収穫高)は25,000石に及び、43か村の農民が用水を使うことになった。

いまこの用水は、拡張改修され、農業用水として重要な役目を果たしている。

この牛が首用水について、こんな伝説がある。
 ≪その昔、富山市呉羽地区の針原に村治古という百姓がいた。ある年の8月16日のこと、弟といっしょに野良仕事で「カチン」と鍬の先にあたるものを発見、掘り出して見ると石のように堅い牛の頭が出てきた。さっそく村の古老に見せると「この辺は昔、長沢の各願寺の開基である仏性上人の寺領内だったので、上人が大切にしておられたという瑠璃の牛頭ではあるまいか。それは五穀豊饒を祈って田んぼに水不足をきたさないようにとの祈りをこめた神体であったが、その後の兵火で行くえれなくなったときいているのだが…」という。兄弟は早速田地に社殿を建て、牛頭を安置した。これが今の牛が首神社といわれる。牛が首用水(四万石用水ともいう)の事業は、牛頭が掘り出された日と同日の8月16日に起工され、このご神体を守護神としてあがめた。境内に大正11年3月、写真の「牛が首用水由来の碑」を建立した。(「富山県の歴史と文化」より抜粋)

5月号もくじ



心身障害者の扶養保険制度の新設や運転訓練用自動車を購入される

住みよい

45年度一般会計

現在県内には、老人保養センターが大沢野町と高岡市にあるだけなので、庄川町金屋地内に、鉄筋三階建てのものを建設する。収容定員は百人。

△身障者の運転訓練用自動車購入(一、五〇五)
身体障害者が運転免許を取る場合の訓練用として、特別に設計した自動車三台を購入し指定自動車学校に配置する。

△六十才以上の老人に、就業あっせん(二、〇二〇)
老人の生きがい開発にと、就業あっせんを行なうため、県社会福祉協議会に職業紹介所運営費を補助する。

△心身障害者扶養保険制度の発足(三六、八四六)
心身障害者の扶養者が死亡した場合、毎月本人に二万円を支給しようという任意保険。四月一日から発足。生活保護世帯に

昭和45年度一般会計予算 (単位 千円)

区分	45年度当初	44年度当初	前年比(%)
県	16,987,411	13,665,028	124.3
地方交付税	1,500,000	1,350,100	111.1
地方交付税特別交付金	15,400,000	13,213,000	116.0
地方交付税特別交付金	50,000	66,000	75.8
地方交付税特別交付金	2,111,034	1,663,343	126.9
地方交付税特別交付金	1,685,777	1,652,605	102.0
地方交付税特別交付金	22,701,155	16,723,207	135.7
地方交付税特別交付金	315,248	357,606	88.2
地方交付税特別交付金	88,993	71,585	124.3
地方交付税特別交付金	44,896	31,708	141.6
地方交付税特別交付金	300,000	300,000	100.0
地方交付税特別交付金	2,440,296	2,615,090	93.3
地方交付税特別交付金	3,374,000	1,577,000	214.0
計	66,998,810	53,286,272	125.7
歳入	66,998,810	53,286,272	125.7
歳出	66,998,810	53,286,272	125.7

老人訪問健康診査の補助もする。

は掛け金(月額千円)千五百円を免除する。

△重度精神障害児童収容施設の新設(五〇、七七九)
黒部学園に、定員三十人の重度棟を併設する。

△身障者の個人事業税の減免(七、〇〇〇)
身障者が事業主の場合、所得六十万円以下のものについて、五万円単位で税額を減減する。

△民間児童福祉施設の整備借入金に利子補給(七七)
私立保育所、私立児童館等が、施設整備のため、社会福祉事業振興会から融資を受けた場合、利子を補給する。

△希望の森建設調査(一〇〇)
こどもたちが自然にそんぶんに親しめる一大遊園地を建設するための調査費。

△総合衛生学院の建設(三三八、五七九)
看護婦不足解消と資質の向上

県土をめざして

予算669億9,881万円

新規事業紹介

ことしの富山県予算は、前年度にくらべて一般会計予算総額が二五・七割の伸びを示し、六百六十九億九千八百八十一万円(リユーリクニハハッテンニ隆々、郷土は発展)と決まり、「住みよい県土づくり」を旨として、中田県政はスタートした。

今年、予算編成の基本方針として①住みよい富山県をつくる。②富山県に繁栄をもたらす。③若い世代を育てる。の三本の柱を立てて編成され、中田知事が就任間もないため、すべての公約を盛り込むことは、時間的にも無理であったが、社会福祉、生活環境の整備など、県民生活に身近かな、しかも社会の底辺にある問題に力が注がれている。また、災害復旧にも力が入れられているのが目立つ。そこで新年度の主な新規事業をピックアップしてみた。

予算編成の基本方針 三大政策

- ①住みよい富山県をつくる
- ②富山県に繁栄をもたらす
- ③若い世代を育てる

住みよい富山県をつくる

今日の高い経済成長のかげには、光のあたらない谷間がありはしないだろうか。政治から置き去りにされ、忘れられようとしていく人々や階層に、きめ細かく社会福祉対策を進め、保健衛生を充実させる。これだけでも、富山県はもっと住みよくなるだろう。

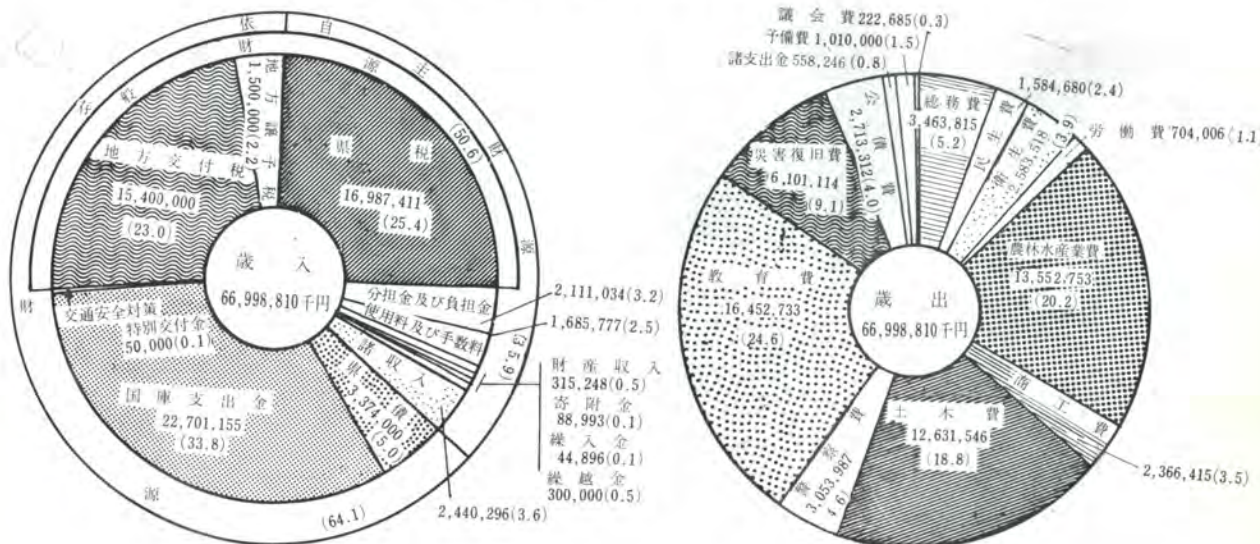
公害、交通、積雪、過疎対策など現代の社会問題にも遅れをとることは許されない。県では、生活基盤の整備をはかり、美しい県土を災害から守り、県民が等しく健康で文化的な生活が営まれるよう、住みよい富山県をつくる。

また、最近とくに犯罪の悪質化の傾向が目立っているため、このような犯罪をなくすことにも努力し、明るく平和な富山県をつくることを、県政のいちばん大きな目標にかかげている。

スモン病の実態調査と巡回診療

△庄川峡老人保養センターの新設(二二、〇〇〇千円)

昭和45年度一般会計予算(目的別分類)





道路標識を大きく見やすくし、交通の安全をはかる

を目ざして、県立中央病院内に鉄筋四階建てで四十六年三月に完成させる予定。ここに、保健婦と看護婦の養成を統合し、生徒の寄宿舎も併設する予定。定員は三三〇名の予定。

△スモン病対策(三二六〇) スモン病患者は、四十一年からの累計で五十二人。その実態調査と専門医による巡回診療を行ない、患者の早期発見につとめる。

△不良食品などの衛生対策(一、四三四) 不良食品追放のため、不良食品衛生監視員を五人増員、食品

モニターとして主婦五十人を委嘱。また、食品衛生講習会を数多く開催する。そのほか、食品添加物、残留農薬などの食品試験検査ができるよう保健所の検査態勢を強化する。

△し尿処理事業の公社化(六八〇) し尿の汲み取りと運搬は、現在県下で十七市町村が業者に委託、十二市町村が許可を与えてそれぞれ収集、運搬が行なわれている。このままでは、料金及びし尿収集計画に適正を欠くおそれがあるので、市町村と業者の出資による公社制に切りか

え、県内に八つの公社を五、六年以内に設立する予定。

△信号機、道路標識などの交通安全施設整備(二〇〇、五九五) 四十四年度から交通安全施設整備三カ年計画を作成し、交通信号機を増やし、機能をよいものにする。また、道路標識を大きく見やすいものに改良するとともに、横断歩道の標示もドライバークラシからは見やすく、守りやすいものにし、歩行者の安全をはかる。

交通安全施設の充実

△一〇番の集中管理(二、一二八) 交通の発達によって、犯罪も広域化スピード化し、警察署あるいは派出所単位の活動だけでは、取締りが困難な場合がおきている。富山市、小杉町、大島町、大門町、新湊市、高岡市の一一〇番電話を警察本部に集中させ、緊急事件や事故を迅速に処理する。

過疎バス路線に助成

△交通事故処理のスピード化(二二二、二六六) 交通事故現場を立体的に撮影するステレオカメラ二台と、図

正しい交通ルールの実践を訴えるため、小矢部市、氷見市、朝日町、細入村に高さ六尺、巾二尺の交通安全塔(鉄筋づくり)を建設する。

△交通安全教育の教材充実(一、七七〇) 交通ルールを守る教育指導用として、ゴーカート、交通標識、信号機、ジュミレーター、映写機などを購入する。

△交通安全塔の設置(一、〇〇〇) 交通事故被害者救済に報償金制度(一、〇〇〇) 交通事故現場に、救急車の到着が間に合わない場合、一般の乗用車、タクシーが被害者の運搬に協力すると、千円～五千円の範囲で報償金を支払う。

る川沿いの十二地点、四工場の汚濁、汚染度を調査し、水質の保全を図る。

△富山新港の水質調査(三九一) 臨海工業地帯に立地した企業が操業に入る段階を迎えて、新港湾内の水質を毎月調査し、海水の汚染を防ぐ。

△大気汚染防止対策(二二〇) 富山新港背後地では特定ガス(フッ化水素、塩素、亜硫酸ガス)の調査をし、大気汚染の防止をはかる。

へき地教育の是正

みな の 県 政
△へき地学校教材補助(二、〇〇〇) へき地の小規模な小、中学校に録音機、オーバードプロジェクター、コピーなどの教育教材を、三カ年計画で充実するために、補助をする。

△学校給食の近代化(七七八) へき地学校の完全給食を推進するために、一、二級地在学の児童生徒(約千五百人)に副食



災害復旧費は、昨年の5.6倍増が見込まれています。(昨年8月豪雨で流した校)

△過疎バス運行対策(三、〇〇〇) 過疎地域では、バス路線の廃止、運行本数の縮減が過疎現象をいっそう深刻化させずにはおかない。県では、路線の運行確保をはかるため、市町村がバス事業者に交付した額の五分以下を助成する。

富山県に繁栄をもたらす

富山県に豊かなみどり多い繁栄をもたらすため、農林水産業、商工業などの産業の体質改善に努めるとともに、振興をはかる。また、新産業都市建設にあたって、既存産業並びにその他の地域との間に調和が保たれていなければならない。産業発展の基盤をなすものは、道路交通網であるから、国道、地方道などを整備するとともに、住民生活に密接な道路も、整備拡充する。

一方、北陸自動車道、東海北陸自動車道、北回り新幹線、新空港などの基幹交通網は、中部圏、近畿圏、首都圏など、わが国経済の中心地と本県を結ぶ大動脈であり、産業、文化、経済の発展に大きな役割を果たすものとして、その建設を促進する。

第二空港の建設調査



ジャンボジェット機時代に備えて第二空港の建設調査を行なう

△水資源調査の着手 (一〇、〇〇〇)

県内の水資源を徹底的に実態調査し、広域化した水利計画の策定と、水の確保対策につとめる。

△美女平・追分間の補修 (八、〇〇〇)

これまでは日本道路公団の道路だったが、四月から県に移管されたので、延長十三・八キロのデコボコ道の補修をする。

△空港調査 (二、一五〇)

現在の富山空港は、三種F級で施設、

設備が十分でなく、神通川の中州であるため拡張が困難である。飛行機の大型化が進んでいるおりでもあり、第二空港(滑走路二千級)の建設を考え、昭和五十年完成をメドとして、ことしは候補地を調査する。

農業の近代化へ

△果樹広域主産地の形成 (三、二七〇)

なし、かき、りんご、ぶどうなどの果樹生産地を育成するため、生産流通近代施設に、三分の一補助する。

△農村婦人労働対策の強化 (八五一)

農作業にたずさわる婦人の重要性がますます高くなるので、中核となる婦人の研修と農婦症など、農村婦人に多い病気を解明し、健康管理をはかるための調査研究を、農村医学研究会に委託する。

△基盤整備の促進 (五、七〇)

農業基盤を整備する一連の土地改良事業として、本年度は、新規地区として、県営かんがい排水二、同ほ場整備七、団体営かんがい排水八、同ほ場整備二十四地区の事業を計画的に進める。

△広域営農団地の農道整備 (一、二二、八六〇)

広域営農団地育成整備対策の一環として、近代農業にふさわ

△土地改良区の整備統合 (五二二)

土地改良事業で造成されたかんがい排水施設、農道などの維持管理の適正化をはかるため、本年度から土地改良区が合併した場合に、合併前の改良区に対し五万円あての補助をすることになった。九地区予定。

△熊野川、布施川、治水ダムの建設調査 (二四、〇〇〇)

洪水調節によって災害を未然に防ぐよう、大山町手出地先及び黒部市福平地先に治水ダムを建設するため、地質調査測量などを行なう。

△農道の舗装 (二六、〇二二)

農産物の荷い込み、砂利の飛散、道路の泥濘化を防止するため、本年度五カ所の農道舗装事業を実施する。

△特殊林産物流通対策 (二、二五八)

シイタケ、ナメコ、クリなど特殊林産物の生産、消費が大幅に増加しているが、これに対する出荷調整、価格安定をはかり、品質、加工の改善に努めるため、現在の生産組合組織の育成と乾燥施設調整に、一部助成をする。

△木材産業基本計画の樹立 (一、〇〇〇)

本県の木材、木製品業は、外材輸入の増加とともに著しく伸びている。今後の木材関連産業は、生産、流通の改善が必須で

△工業関係各試験場の技術開発研究 (三三、二二四)

耐火断熱材、材質、かたさ、工業用水の各研究(工業試験場) 経編メリヤス生産合理化、合織加工糸の編地研究(繊維工業試験場) 産業用紙の用途開発(製紙指導所)をする。

△中小企業設備貸与制度の実施 (七、〇〇〇)

中小企業が生産と公害防止に必要な機械や設備を貸与協会で購入、これを貸与して五カ年で償還する制度。中小企業設備近

△定時制生徒に教科書購入費の半額補助 (二、一一九)

勤労青少年の就学を奨励するために、二年生以上の定時制及び定時制と通信教育を併せて受けている生徒四千七十八人の教科書代の二分の一を助成する。

△現地実習巡回指導の充実 (四三七)

農業科のホームプロジェクト

△果樹広域主産地の形成 (三、二七〇)

なし、かき、りんご、ぶどうなどの果樹生産地を育成するため、生産流通近代施設に、三分の一補助する。

△農村婦人労働対策の強化 (八五一)

農作業にたずさわる婦人の重要性がますます高くなるので、中核となる婦人の研修と農婦症など、農村婦人に多い病気を解明し、健康管理をはかるための調査研究を、農村医学研究会に委託する。

△基盤整備の促進 (五、七〇)

農業基盤を整備する一連の土地改良事業として、本年度は、新規地区として、県営かんがい排水二、同ほ場整備七、団体営かんがい排水八、同ほ場整備二十四地区の事業を計画的に進める。

△熊野川、布施川、治水ダムの建設調査 (二四、〇〇〇)

洪水調節によって災害を未然に防ぐよう、大山町手出地先及び黒部市福平地先に治水ダムを建設するため、地質調査測量などを行なう。

△農道の舗装 (二六、〇二二)

農産物の荷い込み、砂利の飛散、道路の泥濘化を防止するため、本年度五カ所の農道舗装事業を実施する。

△特殊林産物流通対策 (二、二五八)

シイタケ、ナメコ、クリなど特殊林産物の生産、消費が大幅に増加しているが、これに対する出荷調整、価格安定をはかり、品質、加工の改善に努めるため、現在の生産組合組織の育成と乾燥施設調整に、一部助成をする。

△木材産業基本計画の樹立 (一、〇〇〇)

本県の木材、木製品業は、外材輸入の増加とともに著しく伸びている。今後の木材関連産業は、生産、流通の改善が必須で

みんなの県政

△畜産団地の計画調査 (一〇九)

家畜の飼養規模が大型化してきたこと、農村地帯にも住宅

△商業近代化計画の作成 (三〇)

県内を四つの広域生活圏に分け、各圏内の流通機構がどうあ

△畜産団地の計画調査 (一〇九)

家畜の飼養規模が大型化してきたこと、農村地帯にも住宅



家畜の飼養規模の大型化に伴い、省力化、共同化を進め、畜産公害を除去して、畜産団地の造成をはかる

△現地実習巡回指導の充実 (四三七)

農業科のホームプロジェクト

△現地実習巡回指導の充実 (四三七)

農業科のホームプロジェクト

あると考えられるので、振興計画を樹立するため、調査、分析をコンサルタントに依頼する。

△野鳥愛護モデル保護区の設置 (六九六)

急激に減少している野鳥の保護増殖をはかるため、保護施設を設置する。また青少年に愛鳥教育を実物に即して行なえるモデル保護区を設置する。

△栽培漁業の振興 (二、六五〇)

くるまえば、がさみの放流によって、育てる漁業を振興させる。

△家畜の人工授精強化対策 (二、二五〇)

家畜の改良と増殖を図るため、人工授精用の凍結精液を県経済連の組織にのせて、全県下に配布できるよう、マイナス百九十五度で保存できる施設を設置する。

△種豚改良育種施設の設置 (五〇、一六四)

生産性の高い肉豚をつくるために、その基礎となる優良な種豚を選抜し、増殖する施設を、畜産試験場に建設する。

△畜産団地の計画調査 (一〇九)

家畜の飼養規模が大型化してきたこと、農村地帯にも住宅



家畜の飼養規模の大型化に伴い、省力化、共同化を進め、畜産公害を除去して、畜産団地の造成をはかる

が統々建設されることなどから、畜舎から排出される汚水や臭気などが問題となっている。これを解決し、生産性の高い近

△野鳥愛護モデル保護区の設置 (六九六)

急激に減少している野鳥の保護増殖をはかるため、保護施設を設置する。また青少年に愛鳥教育を実物に即して行なえるモデル保護区を設置する。

△栽培漁業の振興 (二、六五〇)

くるまえば、がさみの放流によって、育てる漁業を振興させる。

△家畜の人工授精強化対策 (二、二五〇)

家畜の改良と増殖を図るため、人工授精用の凍結精液を県経済連の組織にのせて、全県下に配布できるよう、マイナス百九十五度で保存できる施設を設置する。

△種豚改良育種施設の設置 (五〇、一六四)

生産性の高い肉豚をつくるために、その基礎となる優良な種豚を選抜し、増殖する施設を、畜産試験場に建設する。

△畜産団地の計画調査 (一〇九)

家畜の飼養規模が大型化してきたこと、農村地帯にも住宅



家畜の飼養規模の大型化に伴い、省力化、共同化を進め、畜産公害を除去して、畜産団地の造成をはかる

代的経営を振興するために、畜産団地を造成するための基礎調査をする。

△中小企業設備貸与制度の実施 (七、〇〇〇)

中小企業が生産と公害防止に必要な機械や設備を貸与協会で購入、これを貸与して五カ年で償還する制度。中小企業設備近

△定時制生徒に教科書購入費の半額補助 (二、一一九)

勤労青少年の就学を奨励するために、二年生以上の定時制及び定時制と通信教育を併せて受けている生徒四千七十八人の教科書代の二分の一を助成する。

△現地実習巡回指導の充実 (四三七)

農業科のホームプロジェクト

△果樹広域主産地の形成 (三、二七〇)

なし、かき、りんご、ぶどうなどの果樹生産地を育成するため、生産流通近代施設に、三分の一補助する。

△農村婦人労働対策の強化 (八五一)

農作業にたずさわる婦人の重要性がますます高くなるので、中核となる婦人の研修と農婦症など、農村婦人に多い病気を解明し、健康管理をはかるための調査研究を、農村医学研究会に委託する。

△基盤整備の促進 (五、七〇)

農業基盤を整備する一連の土地改良事業として、本年度は、新規地区として、県営かんがい排水二、同ほ場整備七、団体営かんがい排水八、同ほ場整備二十四地区の事業を計画的に進める。

△熊野川、布施川、治水ダムの建設調査 (二四、〇〇〇)

洪水調節によって災害を未然に防ぐよう、大山町手出地先及び黒部市福平地先に治水ダムを建設するため、地質調査測量などを行なう。

△農道の舗装 (二六、〇二二)

農産物の荷い込み、砂利の飛散、道路の泥濘化を防止するため、本年度五カ所の農道舗装事業を実施する。

△特殊林産物流通対策 (二、二五八)

シイタケ、ナメコ、クリなど特殊林産物の生産、消費が大幅に増加しているが、これに対する出荷調整、価格安定をはかり、品質、加工の改善に努めるため、現在の生産組合組織の育成と乾燥施設調整に、一部助成をする。

△木材産業基本計画の樹立 (一、〇〇〇)

本県の木材、木製品業は、外材輸入の増加とともに著しく伸びている。今後の木材関連産業は、生産、流通の改善が必須で

若い世代を育てる

は、若い世代。そして若い世代を育てる基本は人間をつくる教育である。このため、学校教育を充実するとともに、青少年のあり余るエネルギーを正しい方向に向けるようスポーツ、文化活動の振興を図るなど、次代をになう若い世代を健全に育成する。

県独自で青年の船

将来の富山県を背負って立つのは、若い世代。そして若い世代を育てる基本は人間をつくる教育である。このため、学校教育を充実するとともに、青少年のあり余るエネルギーを正しい方向に向けるようスポーツ、文化活動の振興を図るなど、次代をになう若い世代を健全に育成する。

△定時制生徒に教科書購入費の半額補助 (二、一一九)

勤労青少年の就学を奨励するために、二年生以上の定時制及び定時制と通信教育を併せて受けている生徒四千七十八人の教科書代の二分の一を助成する。

△現地実習巡回指導の充実 (四三七)

農業科のホームプロジェクト



次代を担う青少年を健全に育成するには、教育が基本である。スポーツや野外活動を通じて・・・（有峰青少年の家で）

るガールスカウト「国際キャンプ」「国際ラリー」の参加者についても補助をする。

△青年中堅リーダーの養成（一、二二二）

青年教育の中堅リーダーを養成するために、県内各地域からの青年五十人を阿蘇国立青年の

家へ、また、各職域からの青年五十人を江田島青年の家へ、それぞれ六日五泊で派遣する。

△教育モニターの委嘱（八五）

教育行政に、広く一般県民から意見、要望、批判などを聴くため、教育モニター三十人を委嘱し、円滑な教育行政の推進を

はかる。
△石油地下タンクの設置（七、一四〇）
暖房用石油の貯蔵庫として、地下タンクを、県立学校十校に設置する。

△青少年カウンセラー養成講座の開設（八〇四）
青少年のいだいでいる悩みや問題について、適切な助言指導のできる指導者を養成する。

講座は、「青少年の家」で、青少年育成推進員や企業内担当者などを対象に、年二回百名を三日二泊の研修をする。

△「青年の船」実施調査（三〇〇）
青年を海外に派遣して、国際的視野を広め、日本の姿を正しく理解させるとともに、郷土に有為な青年リーダーを養成しようとするもので、本年度は、県青年の船準備委員会を設けて調査を行ない、四十六年度に実現しようとするもの。

その他

△世論調査の実施（一、四二八）

左官ひとすじに

富士市弥生町一丁目十二ノ二 佐久間松平さん

近頃はホワイトカラー偏重ともいうべき風潮にのってこの道一筋という熟練工はだんだん減ってきている。だがここに、この道一筋に打ち込み昭和四十三年に「卓越した技能者」として労働大臣から表彰された人がいる。

その人は、富士市弥生町に住む左官業、佐久間松平さん（七十五才）。

私の座右銘

私は常に自分のやった仕事には責任と自信を持ってやってきました。人間は何事においても自分のしたこと責任と自信を持つことだと思っています。

責任と自信を

チャットした時でも弟子に、自分の気になっているまで何回でも繰り返させますね。他



元気に帳簿をつけるありし日の佐久間さん

り落とし、よく塗り直されたもんです」と当時を思い起こす。このような修業をつみかさねて佐久間さんは、十八才にしてもう一人立ちしていた。

「当時は今と違って壁屋の仕事は富士にビル工事もなく冬は殆んど仕事になりませんでした。ですから冬になると仲間と共に旅に出て都会のビル工事の左官部分を請負いました」と語る。その頃、佐

歳入予算の概要

一般会計の歳入六百六十九億九千八百八十一万円のなかで、最も比重の大きいのは、国庫支出金が二百二十七億百十五万五千円で、全体の三三・八割を占めている。次いで県税の百六十九億八千七百四十一万一千円が二五・四割を占め、四十四年度当初の二四・三割増を見込んで

これに次ぐ財源は、地方交付税の百五十四億円で、二三割を占めている。県税、分担金及び負担金などのいわゆる自主財源は、三五・九割となっている。

農地林務部林政課

木材は、私たちの生活と非常に密接な関係があり、最近、その需要は年々著しく増大しております。この木材をはじめ林産物の生産、需給ならびに利用加工などに関する行政面の仕事を担当しているのが林政課です。

具体的には、優良樹苗の養成確保、人工造林の推進などによる林業生産の増大、クリ、シイタケ、ナメコなど特殊林産物の産地化促進、県営林の造成、林業構造改善事業の推進、森林組合の育成強化、普及指導事業の推進、林業労働力対策などのほか、最近の外材増大に対応して木材産業の振興を、主なものとしております。林業は山村に基盤をもつ産業であり、その意味で、山村振興の仕事、それが林政課の仕事ともいえるのです。

このほか森林保険、林業金融、鳥獣保護などの仕事も担当しています。

なお、係は業務、森林計画、造林、森林組合、林産、貯木場、普及の七つからなり、また出先機関としては、魚津、富山、高岡、砺波の各農地林務事務所（林務課林政係）があります。このほか林業試験場や木材試験場とも密接な連携をとりながら、林務行政の推進につとめています。

ヤア、どうです

現代の名工を訪ねて ②

私は常に自分のやった仕事には責任と自信を持ってやってきました。人間は何事においても自分のしたこと責任と自信を持つことだと思っています。

久間さんは、東京では九ビルを始め、帝大の図書館、大阪では高島屋、大丸の百貨店などの高層建築物を手がけ、東北、北海道も歩き廻った。この仕事ぶりを見て大正年間には、すでに建築界で「富士の佐久間」と高く評価された。

あなたのコーナー

あなたのコーナー
ご質問に答えて

聞こう 知ろう 確かめよう

こんな場合どうしたら？ これはなんとかならないか……。このページは、みなさんのご質問にお答えする「あなたのコーナー」です。どなたもお気軽に「お問合わせ下さい」。あて先は 富山市新総曲輪一番七号 富山県庁相談室

ので、あなたの場合どうなるか調べてみましょう。まず確かに恩給の対象になると思われる期間は

兵役 外国徴収加算 教職 2年 + 4年 + 7年 = 13年です。

次に、監視哨長の期間ですがおっしゃるとおり、この五年が加算されれば、なるほど十七年に達します。

ところが当時の辞令に加算されるのとあっても、かって支給された金鶏勲章の年金が法的根拠を失って廃止されたように、法の根拠がないとどうすることもできないわけですよ。

従って残念ながらこの加算については、法に何らの規定がありませんので、恩給の対象にはならず、あなたは恩給の受給資格がありません。

造林シロップ

【造林木の管理】

スギとマツに害虫が発生する時期です。次のことに注意して害虫から木を守りましょう。

1 スギのハタニ

経過と被害……年に七〜十回発生し、幼虫、成虫ともに針葉の樹液を吸取し、樹勢を弱め、はなはだしいものは枯死させます。

防除法……被害木に五月と九月の二回、次の薬剤を散布する

と効果があります。①BHCくん煙剤、②エチルチオメトン粒剤

2 マツケムシ

経過と被害……年に一回発生

病害虫の防除

し、若令幼虫から成長するに従い、葉のさきからもとまで食いつくし、被害は大変大きいものです。

防除法……四〜五月と九〜十月の二回BHC粉剤、またはD

E.P.乳剤を散布すると効果があります。

【庭園木の管理】

カイガラムシ

経過と被害……年に一〜二回の発生で樹液を吸取し、激害樹は枯死することもあります。

防除法……チオメトン乳剤、ダイアジノン水和剤を散布すると効果があります。

なお、くわしいことは販売店でご相談されるとよいでしょう。(林政課)

五月の解説

五月のことを和名で「さつき」と呼んでいます。さつきと呼んだいわれは、五月は早苗をとる月であるところから、早苗月と呼んだのが縮まって「早月」となったといわれます。

一説には、五月は万物が生長する幸い多い月という意味から「幸月」ともいわれます。

そのほか、授雲月(さぐもづき)、五月雨月(さみだれづき)仲夏、乾月などの異名もあります。

北陸財務局 富山財務部

財務部は、大蔵省の仕事のうち、国税と国際金融を除いた事務を取り扱う、大蔵省の総合出先機関です。業務を大きく分けて、財政金融、国有財産に関する事務の二つになります。

財政金融については、①地方の経済情勢や財政の状況等を調査して、大蔵省全体の仕事に役立たせる。②災害時、被害状況を調査して、国の予算編成の基礎資料を作る。③郵便貯金を原資とした資金運用部資金を、学校、道路、橋梁等の建設資金として、富山県に貸しつける。④金融機関や証券会社の指導、監督及び検査をする。

国有財産については、①各官庁や国立大学の土地、建物を有効に利用するため、各省庁間の計画を統一的に調整する。②国が持っている土地、建物を国民経済の発展や国民生活の向上に役立たせるため、県民や地方公共団体などに売り払ったり、貸しつけたりする。③公務員宿舎を建設し、管理する。などが主な内容です。財務部は、府県単位に全国で四十二ヶ所あり、その上部機関として全国に十ヶ所の財務局が設置されています。

富山財務部は、北陸三県を統括している北陸財務局(金沢)に所属しており、富山市丸の内一丁目五番十三号、富山税務署との合同庁舎にあります。

畜産団地の育成へ

家畜飼養実態調査から



副業から専業に移行

昨年十一月に、県が市町村や農協の協力を得て行った家畜飼養実態調査により、豚、乳用牛、肉用牛を五頭以上、豚五十頭以上(繁殖豚は五頭以上)、鶏千羽以上を飼っている戸数は、千四百四十六戸ありました。

一昨年同じ時期に行なった調査に比べて、こうした大型経営が八十四戸増加しています。県下の全飼養戸数は、四十三年の調査時に一万三千三百戸が、四十四年調査時七千五百二十八戸と、大幅に減少していることを考慮しますと、副業的畜産経営が急速に減少し、大型の専門的経営が増加しつつあることがはっきりわかります。

畜産公害をなくすために

飼養頭数が少ない間は、家畜の排泄物は価値の高い肥料として大いに利用されてきました。が、頭数がふえ、養豚や養鶏が、自家経営の主力となる畜産が行なわれるようになると、肥料として利用する限度をこえ、その処分が適切でないために、種々の社会問題を引き起こすようになりました。

とくに本県は、部落が点々と散在しているうえに、都市近郊では統々と農村部へ住宅が進出しているため、全県下にわたって問題が生じています。

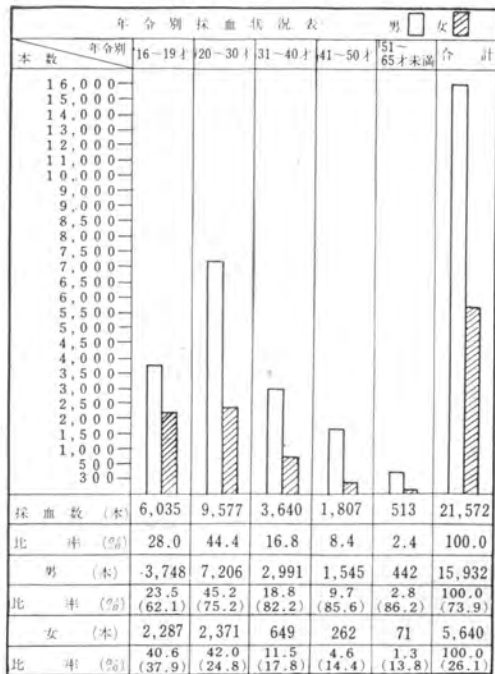
昨年十月から十一月にかけての二十日間の一斉調査により、苦情の対象が二十一件あり、四十三年度調査では百六十二件、苦情とは関係のないものを含めて三十九件について、移転するのが適当であるとの判定が行なわれています。また、苦情のないものも含めて、人家と畜舎との距離が五十メートル未満のものが五十八軒にも達しており、適当な場所があれば移転し、経営を大型化し、近代化していくことが必要と考えられます。

今年度は適地調査から

県では、この新しい情勢に対応して、四十五年度に、全県下にわたって畜産団地適地の基本調査を行ないます。この調査の結果をみて、適地には、道路、電気、用水、敷地などの整備をはかり、近代的な畜産を育てるとともに、山村などの地域開発に役立てる考えです。

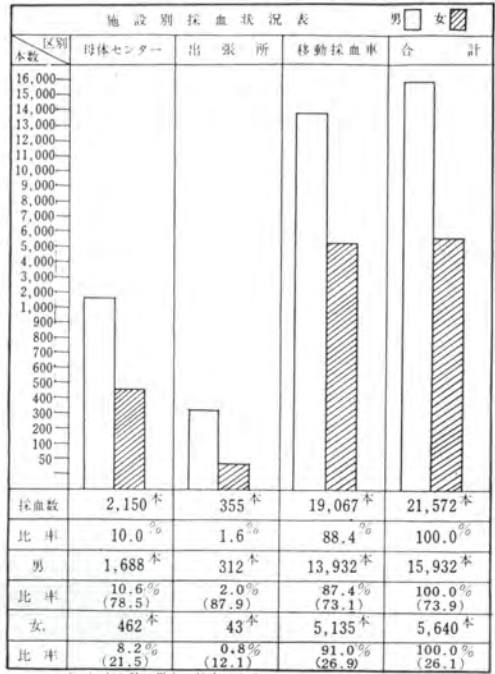
また、現在計画中のもの、すでに活動中の畜産団地については、国や県、市町村、農業団体などが、その健全な発展のため力を注いでおります。(畜産課)

若い方の献血伸びる



() 内の数は男女の比率である。

街頭献血ふえる

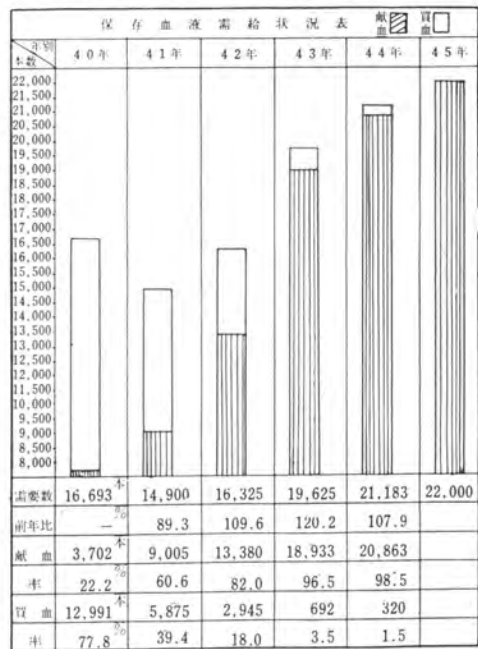


() 内の数は男女の比率である。



交通事故などによって血液の需要が急増している

ことしは、献血で全部まかなえるように……



A、B、O式血液型の分布割合

区分	A	O	B	AB	計
割合	40%	30%	20%	10%	100%

献血の実態を見る

あなたもできる人助け



赤十字血液センターは、昭和四十年一月設置されて以来、保存血液確保のため、献血思想の普及にとめてきました。この五年間に血液への関心も高まり、県民のご協力によって年々順調に献血が伸びております。

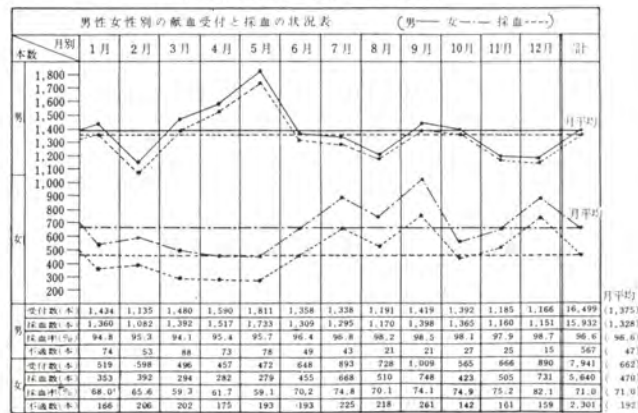
昭和四十四年は、二万四千四百四十人の献血希望者のうち、二万一千五百七十二人から採血、需要量の二万一千百八十三本をまかなうことができましたが、なお血液型によっては、時的に不足の状態になるものもあります。また、近代医学の進歩、交通災害などから年々需要量が増加しておりますので、今後ともいっそうのご協力を願います。

献血していただいた方には、病気になる場合、輸血される時の自己負担額はいりません。

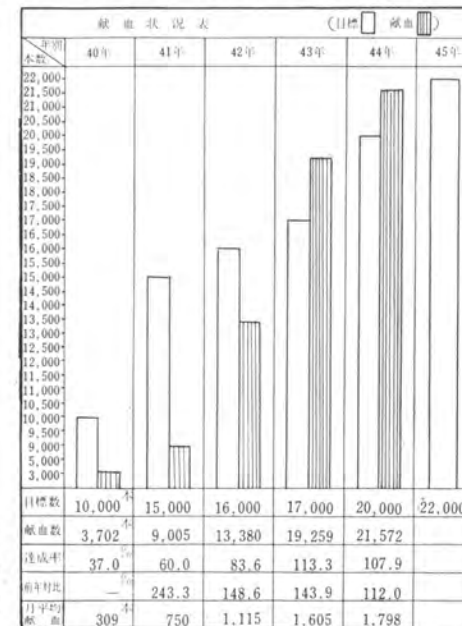
昭和四十五年四月から、献血者の善意に報いるため、本人や、三親等内の血族、配偶者、二親等内の姻族が輸血された場合に、献血量相当分の血液代金自己負担額を、県が負担することになりました。今後も、自分のため、人助けのために献血にご協力下さい。

次に、昨年の県における献血の実態をグラフでみてみましょう。

採血率は男96.6%、女71.0%



みなさんの協力で順調に伸びる献血



最近の県政から

電子計算機が運転開始

まず税金事務や給与計算

（電子計算機の偉力を見る関係者）
 コンピューター時代に対処して、県では三月三十一日、電子計算機の運転を開始した。
 運転開始の始業式は、県庁一階の電算室で行なわれ、中田知事がスタートのボタンを押し、関係職員を励ました。
 四月からは、自動車税の徴収事務について行ない、七月から職員給与計算を行なう予定で、将来は県予算の編成や統計事務などにも活用する予定である。
 導入されたのは「FACOM 230-25型」で、一度に四万八千字の記憶能力を持つ中型機である。

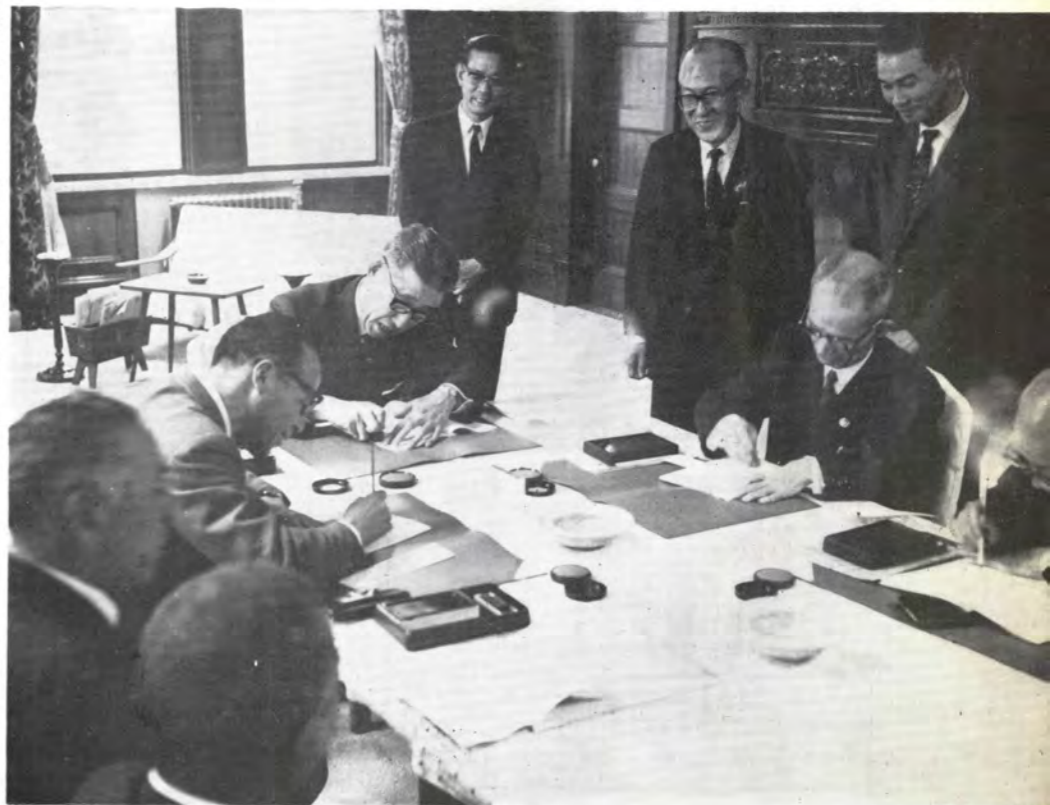


（黄色い羽根を生徒の胸につける中田知事）

知事、交通事情を視察

黄色い羽根配る

最近の交通事情を視察するため、中田知事は、四月十一日午前八時から約二時間にわたって、交通の激しい富山市街地をつぶさに見てまわり、通勤通学者の胸に黄色い羽根をつけて「交通安全につと



（用地買収に調印する関係者）

北陸自動車道の用地買収に調印

砺波インターなど四地区

北陸自動車道が建設される砺波インターチェンジ地区ほか三

地区の、用地買収がまとまり、三月二十一日、三十日の両日、県庁で地元市長立ち合いのうえ、中田知事と地元代表との

間で調印がなされた。
 調印されたのは、砺波インター地区の一・四五キ、面積九万

三平方キ。小矢部市津沢地区の一・一キ、面積五万二千二百平方キ、小矢部市水島地区の一・〇七キ、面積四万七千五百九十八平方キ。福光町地区一・六五キ、面積十二万二千二百平方キであり、これら四地区のうち、三月末現在で二十二・五キ買収が終わった。

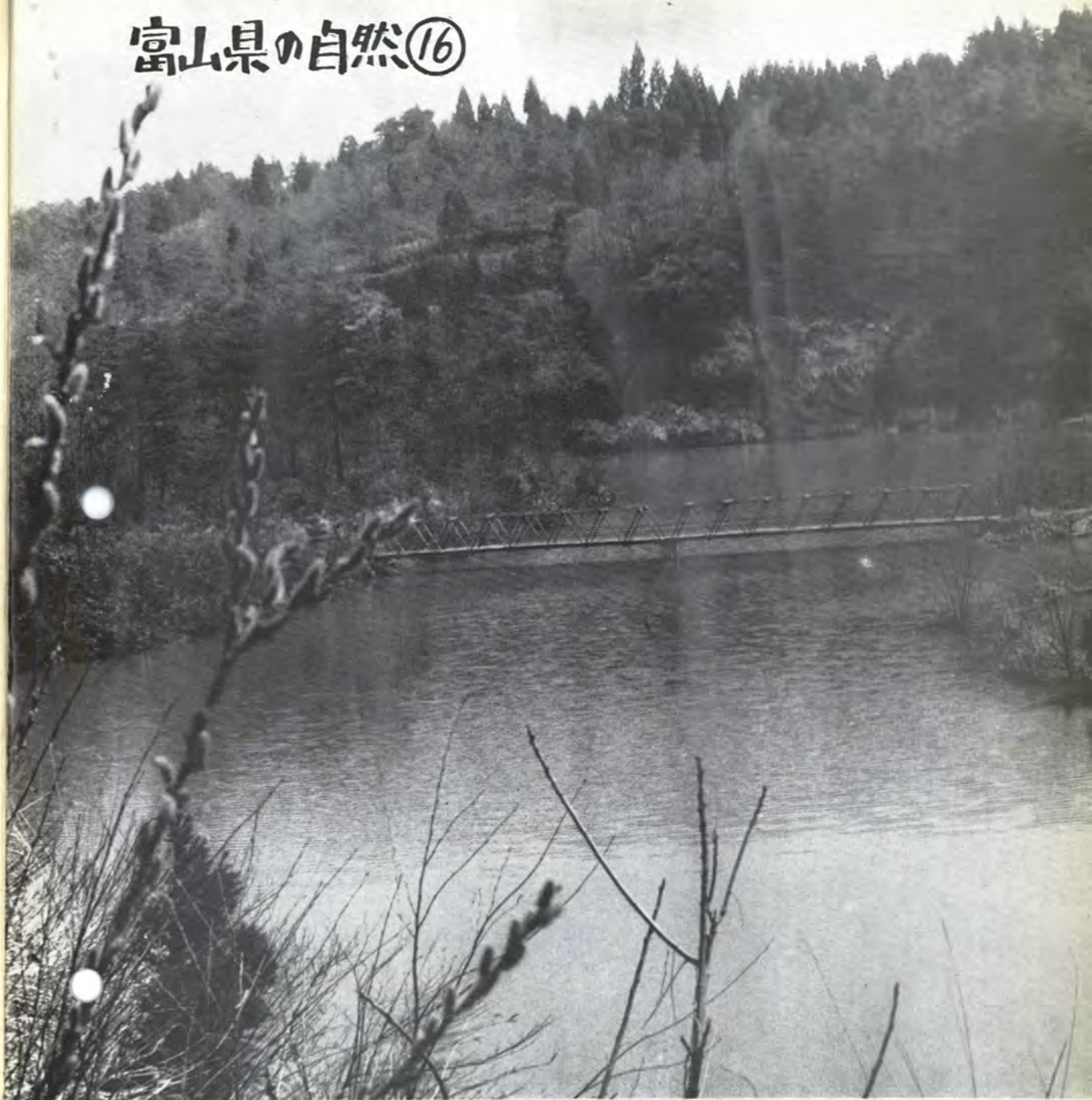


県議事堂の起工式 地下1階、地上4階

県庁の西側に新築される県議会議事堂の起工式が、3月31日建設現場で関係者やく100人が集まって行なわれた。

中田知事が鉄入りの儀式を行ない、出席者が玉串をささげ、無事完成を祈った。

議事堂は、総工費4億1,700万円で、地下1階、地上4階、一部5階の延べ5,500平方キの近代的なもの。46年1月完成予定。



藤が池 (婦中町)

県道富山7砺波線を走るバスを、婦中町中保屋で降り、二十分程歩くと藤が池があります。この池は、昭和二十一年から五年の工期を経て灌漑用水池として完成したもので、辺呂川の清流が水源となっています。

その規模は広大であり、附近の谷は湖底に沈み、山はこの池によく調和し、四季を通じて風光絶佳のところ。春は新緑、わらび狩、溪谷を色どる藤やつつじ、秋は錦絵を見るような紅葉、小鳥山の味覚、きのこがり、キジ、カモ猟、またハイキングコースとしてもみのがせないところです。テレビドラマ「天と地と」でおなじみの上杉謙信が、越中を手中に収めようと神保安芸守の居城の滝山城を攻める際、松に腰を降ろして指揮をとったといわれる「腰掛の松」(最近では、害虫のため枯死寸前)がある。道すがら一連の名所旧蹟と往時の遺跡をたずね、越中平野を一望におさめるのもよし、野外レクリエーションの場としても好適地となっています。

越中史 夜話

(第十二回)

身がわり

主君の身がわりになって討死するというのは、ドライな現代人にはまねのできないことであり、合理主義的な若者たちにとっては、時代錯誤な笑うべきことであろう。けれども日本の

古典文学の中には、そんな例がたくさん記述されている。それらは賞讃されるべきこと、模範的な義烈な行為として詳述されており、事実、国民大衆から長く讃仰され、敬慕されてきた。



富山市布市興国寺の前にある桃井直常の墓

例えば、平家物語には屋島の戦の段に、源義経を狙う平教経の強弓の前に、佐藤兼信が義経の身代りとなって討死したことを、同情賞讃の筆で詳述している(巻十一、嗣信最後の章)。

また太平記には、村上彦四郎義光が、吉野城最後の日に、大塔官護良親王の身代りになっ

て、親王の御鎧をぬがせて自分が着用し、「後醍醐天皇の第二の皇子、一品親王尊仁、逆臣の為に亡ぼされ、恨みを泉下に報ぜん為に、只今自害する有様を見ておいて、汝らが武運忽ちに尽きて、腹を切らんずる時の手本にせよ」とて、敵の目の前で壮烈な切腹をしたことが詳述してある(巻七、吉野城軍のこと)。

そのすきに大塔官は、熊野山中の天の河へ落ちのびられたのであった。また楠木正行が高師直と四條

権として武功天下にあらわれたる高の武藤守師直これにあり」と名乗って討死した。その間に師直はるかに逃げ去り、正行は偽の首を取ってはがみして残念がったという。このことも太平記巻二十六、「四條繩手合戦の事、付上山討死の事」の段に詳述してある。

テレビ放映の「樫の木は残った」は、有名な伊達騒動から取材したのだが、この伊達騒動をテーマにした歌舞伎に「伽羅先代萩」がある。この中で幼君鶴千代の乳人政岡が、奸臣が幼君を殺そうとしてすすめた毒入りの膳を、実子千松に試食させて、実子を死に至らせる段があり、観客の涙をしばらせる。

越中人二宮兵庫助が、桃井直常の身代りとして討死した話が、太平記に述べてある(巻二十三、京軍の事)。

桃井直常は、南北朝時代の越中守護で、豪勇無双の武将であった。はじめ足利尊氏について南朝を攻撃していたが、途中より尊氏の弟、直義に味方して南朝方に帰順し、尊氏方の軍と戦って万丈の気を吐いた。直常は

越中守護職でありながら、京都まで遠征して足利尊氏の軍勢を蹴散らして、京から追い落したこともあったが、勝敗はいくさの常で、敗北することもしばしばあった。

正平十年(文和四年)二月、桃井直常は、弟直信とともに越中軍勢をひきつれて京へ攻め、南朝と北朝との運命をかけた激戦に参加する。二月八日、細川清氏(北軍)が千余騎をひきいて四條大宮におしよせ、北陸勢八百余騎と終日激戦した。その夕方、紺糸の鎧に紫のホロをかけ、黒馬にのった男が、「我は桃井直常である。細川殿に見参して、日頃承り及ぶ力の程を拜見したい」と高声に名乗って出た。そして一騎討をして、桃井が討たれたが、蠟燭の光でよく見ると、越中の住人二宮兵庫助であることがわかった、と詳述してある。

果史編さん室

橋本芳雄

みんなで野鳥の保護を……

愛鳥週間 5月10日～16日



巣箱に小鳥の餌を入れてやるよい子たち（砺波市千光寺付近）

日曜日の朝はテレビで県政を

テレビ
みんなの県政

県政の重要事項をフィルム構成および対談で放送します。

（毎週日曜日）

北日本放送（7:35～7:50） 富山テレビ（7:30～7:45）

5月3日 10日 17日 24日

5月31日

みんなの県政 5月号 昭和四十五年五月 発行（第十七号）

編集
発行

富山県総務課

富山市新総
電話富山④四一

輪一番七号
郵便番号九三〇

定価四十五円印刷 中越印刷製紙株式会社